



◀突然やって来たトトロに、大喜びの園児たち

本物そっくりの力作『トトロ』に大歓声！

東部中生徒が保育園にプレゼント

宮崎駿監督のアニメ映画で人気のキャラクター『トトロ』を東部中生徒が作り、7月6日、地元のなごみ保育園に届けました。

技術科を選択する昨年度の2・3年生15人が、4か月の授業で約13時間を費やして作った張り子のトトロは、身長が約170cm、胴回り3m以上もある大物。毎年、東多町内の事業所を中心に職場体験でお世話になっている地域に恩返しをしようと、今回、園に贈ったものです。

贈呈式で3年生11人を代表し、部長の古賀泉希君が「大切に遊んでください」と話すと、園児たちは「ありがとうございます」と感謝。触ったり、抱きついたりしてはしゃぐ様子に、副部長の黒岩稜君は「強度を一定にするため紙をムラなくたくさん張るのに苦労したけど、喜んでもらえ嬉しい」と笑顔で話しました。藤谷頭園長は「園のマスコットとして、園児を見守ってほしい」と語り、出来栄を賞賛。その後に行われた園の夏祭りでもトトロは、訪れたみんなを楽しませ、人気者となっていました。

躍進する佐賀鉄工所の新多町工場が操業開始

開所式で地元関係者にも工場内披露

北多町小侍に完成した『株式会社佐賀鉄工所』（本社・佐賀市）多町工場が7月11日、関係者ら90人を招き、開所式が行われました。

昭和13年創業の同社は、「小さなボルトで、明日を開く！」を実践し続け、国内の自動車メーカーをはじめ、海外の主要企業へ提供するボルトの大手メーカー。多町工場は、全国で4箇所目となるその生産拠点で、敷地面積約11.2haに、熱処理、冷間鍛造ライン、めっき、検査・発送設備4棟を主とした建屋延べ床面積約2.7haの一貫生産工場です。受注状況の回復により、5月中旬から稼働となりました。

式典では、小林伊知郎社長が「最新工場として実力発揮に総力を結集し、安全操業に努めたい」とあいさつ。横尾市長は、進出企業に対する感謝や経営姿勢に敬意を示し、「今後の繁栄に地元としても力を尽くしたい」と、いっそうの躍進を願いました。式典後は、工場内も案内され、野上茂工場長は、「多町工場の特長を作りながら、この地域に根ざした企業と主力工場を目指したい」と話されました。



▲テープカットやくす玉割りで、完成を祝う関係者

観察会で舞姫蓮（まいひれん）も初紹介

「古代ロマンを永遠に」と2000年ハスの観察会が行われました。多町聖廟近くにある聖光寺本堂では、守る会と園芸愛好会など約40人が集まり、『舞姫蓮』という初紹介のハスにまつわるエピソードも披露されました。2000年ハスを一目見ようと訪れる県内外からの観光客は年々増え、野中寛応住職は「みなさんが和まれ、やさしい顔になって帰られるのが幸せ」と、話されていました。



自衛官志願者の方は募集相談員に相談を！

自衛隊佐賀地方協力本部と多町市は、平成21・22年度の多町市自衛官募集相談員の金ヶ江利文さん（東多町／左）、鳥井範文さん（西多町／中央）、中岡繁樹さん（北多町／右）に委嘱状を手渡しました。募集相談員は、自衛官志望者に対して自衛隊に関する情報提供や支援をはじめ、募集に対しての相談に応じられます。

